

第2回会議の振り返り

1. 会議の概要
2. 委員の主な意見

特命推進課
令和4年11月29日

1. 会議の概要

➤ ヒアリング・調査結果の報告

- 文化、観光、教育等における関係者へのヒアリング調査結果の報告
- ゲストスピーカーによる事例発表（宮古島 クイチャーフェスティバルの取組事例等）

➤ 提言のとりまとめの方向性

提言の取りまとめにあたり、以下の点についてご意見をいただいた。

- 中間報告の内容に追加、修正が必要な項目
- 一体的・戦略的に推進するために議論が必要な項目

➤ 今後の進め方について

提言書の骨子(案)を作成するにあたり、検討会の実施方法や検討内容などについて確認。

2. 委員の主な意見

議題：提言のとりまとめの方向性と今後の進め方

- ◆ 提言内容は抽象的な文言で終わらせてはいけない。より具体的で県の施策として実際に5年先、10年先にしっかりとしてもものが残るような提言をしなければならない。
- ◆ 今後「県ができる事は何か」という視点で具体的な政策を進めていかなければならない。
- ◆ 新しい科目が増えていく現在の日本の教育システムの中において、沖縄県としてのアイデンティティをどう育てるのが課題。
- ◆ 歴史文化教育との連携や、地域文化の継承は、柔軟に地域にいる指導できる人材（お年寄りなど）を上手に活用し、横断的な取組にできるかが重要。
- ◆ 例えば県が行っている施策と連動する形で提言できれば、既にある予算の執行体制を活かしてより戦略的な動きができるのではないか。
- ◆ 文化振興予算の規模を大きくする必要がある。（アーツカウンシル事業の拡大）
- ◆ 例えば文化教育に関する事業の情報などを一元化して、市町村や学校など関係者が情報を共有できる仕組みが必要。